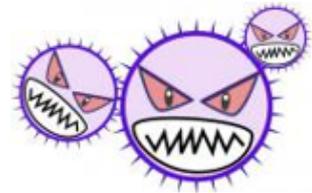


なぜ消毒前に器具を洗淨するか
ご存知ですか？



消毒液はたんぱく質(頭皮)などの
有機物があると消毒効果が
弱くなってしまう、
適正な消毒を行っても
十分な消毒効果を得られなくなります。

消毒方法について①

(血液の付着している疑いのある器具等)

器具・消毒剤	方法	備考
煮沸消毒器	2分間以上煮沸	沸騰させてから器具を入れる
エタノール	溶液中に10分間以上浸す	溶液濃度は76.9v/v% ~81.4v/v%
次亜塩素酸 ナトリウム	溶液中に10分間以上浸す	溶液濃度は0.1% (有効塩素濃度 1000ppm)

消毒方法について②

(血液の付着している疑いのない器具等)

器具・消毒剤	方法	備考
煮沸消毒器	沸騰してから2分以上煮沸	沸騰させてから器具を入れる
エタノール	溶液中に10分以上浸す	溶液濃度は 76.9v/v%～ 81.4v/v%
	溶液を含ませた綿またはガーゼで拭き取る	
次亜塩素酸ナトリウム	溶液中に10分以上浸す	溶液濃度は 0.01%～0.1% (有効塩素濃度 100～1000ppm)
紫外線消毒器	連続して20分以上照射	紫外線灯から照射される紫外線は 85 μ W/cm ² 以上
蒸し器	80℃を超える蒸気に10分以上触れさせる	
逆性石けん	溶液中に10分以上浸す	溶液濃度は 0.1%～0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン	溶液中に10分以上浸す	溶液濃度は 0.05%
両性界面活性剤	溶液中に10分以上浸す	溶液濃度は 0.1%～0.2%

★エタノール以外の薬液は、**毎日交換**する。

★エタノールは、蒸発や汚れを考慮しながら **7日以内に1回交換**する。

★紫外線ランプは、製品の説明書の時間で交換する。**(光≠紫外線)**

消毒薬の希釈について

$$\left[\begin{array}{c} \text{作りたい} \\ \text{溶液の量} \\ \text{(ml)} \end{array} \right] \times \frac{\left[\begin{array}{c} \text{作りたい濃度} \\ \text{(\%)} \end{array} \right]}{\left[\begin{array}{c} \text{原液の濃度} \\ \text{(\%)} \end{array} \right]} = \boxed{\begin{array}{c} \text{必要な原液の量} \\ \text{(ml)} \end{array}}$$

★原液の濃度（％）は、必ず製品の表示を見て確認しましょう。

（希釈の例 1）

0. 1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を、1リットル作りたい。

- ・作りたい溶液の量：1000ml
- ・作りたい濃度：0.1%

→原液の濃度が5%のとき

$$1000(\text{ml}) \times \frac{0.1(\%)}{5(\%)} = 20\text{ml} \quad \rightarrow \quad 20\text{mlの原液を水で1Lにする}$$

（希釈の例 2）

0. 2%逆性石けん溶液を、2リットル作りたい。

- ・作りたい溶液の量：2000ml
- ・作りたい濃度：0.2%

→原液の濃度が10%のとき

$$2000(\text{ml}) \times \frac{0.2(\%)}{10(\%)} = 40\text{ml} \quad \rightarrow \quad 40\text{mlの原液を水で2Lにする}$$

逆性石けんの一例
塩化ベンザルコニウム
オスバン

手指の消毒

客1人ごとに手指を石けん等で十分に洗淨し、ペーパータオル等で水気をとった後、消毒用アルコール等の速乾性擦式消毒薬を用いて消毒すること。

正しい手洗い方法



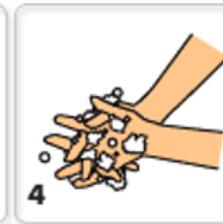
指輪、時計などをはずす



流水で洗う



せっけんをつけて十分に泡立てる



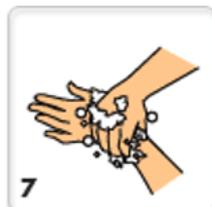
手のひら、手の甲をこすり、指の間は、両手を組むようにしてこすり合わせて洗う



親指は、反対の手でねじるようにして洗う



指先、爪の間は、手のひらの上で指先をこするように洗う



手首は、反対の手でねじるようにして洗う



流水でせっけんと汚れを十分に洗い流す



清潔な乾いたタオルかペーパータオルで拭く